

山びこ通信

Vol.2
2003.10.7

山の学校 2学期始まる！

——「夏休みイベント」を終えて

8月の最終週は、「山の学校」にとっては2学期の始まりでもあり、夏休みを利用したスペシャルイベントの週でもあります。

参加されたお子さんご家族のみなさんは、この企画をどのようにお感じになったでしょうか？ また、体験談等をお聞かせいただければ、今後の参考にさせていただきます。

夏休み“スペシャルイベント週”は、以下の授業が実施されました。

- 8月26（火）「ワクワク探検教室」
- 27（水）「ことば」の朗読会 / 「2000年前の科学論」
- 28（木）アリ博士の山岡亮平先生のお話 / 「英語で遊ぼう！」
- 29（金）「ひねもすで遊ぼう！」 / 「ラテン語のタベ」

「第1回ふれあいバザー」のお知らせ

- 来る11月29日（土）に、幼稚園でバザーをします。
（午前10時から午後1時まで）。
- お知り合いをお誘い合わせの上、ぜひご来園下さい。
（対象は、幼稚園と山の学校関係者とのお知り合い）。
- バザーのほか、子ども向けのゲーム、カプラ、ひねもす、紙芝居のコーナーもありますので、お子様からお年寄りまで、多数のご参加をお待ち申し上げます。

なお、バザーに出品を希望される方は、近々幼稚園の方で出品の取り決め事項等についてまとめますので、それができ次第お渡し致します。

8月26日（火） 【ワクワク探険教室】

（「しぜん」主催 小学生以上対象）

この日は、朝から大雨でした。しまった！雨の場合どうするのか、案内の時点で明記していなかった！ と思っても後の祭りです。

瓜生山頂に続く山道自体は、森のように覆われていて、直接雨の影響は受けません。私自身は雨天決行のつもりでおりましたが、電話がどんどん鳴ります。

「今日は中止ですよ？」というお問い合わせが多く、「いえ、決行です」と申し上げると、一様に「へえー！？」という反応をされました。電話を切るたび、不安がどんどん増していきます。ところが、どういうわけか、9時近くになると雨も小降りになり、しばらくするとピタッとやみました。

この日のテーマはキノコでした。子どもたちは山道のあちこちに色んなキノコを見つけては歓声を上げ、仲良く山頂を目指しました。今回は、亮馬先生のご友人で鳥博士の平野先生も同行して下さったので、歩きながら鳥のさえずりにも耳を傾けました。「あれは何の鳥、これはどんな鳥・・・」と、時には鳥の鳴き声も真似しながら、子どもたちにそのひとつひとつを丁寧に説明していただきました。

最初は元気いっぱいだった子どもたちも、山頂に着く頃にはみな疲労困憊の面持ちでした。山を下りたあたり、狸谷不動院のすぐ上には湧き水がありますが、それを発見した子供たちは一目散に駆け寄りました。

続いて狸谷不動院の中でキノコの分類をした後、記念撮影をして帰路につきました。こうして3時間があっという間にたち、時間通りにサークル K に戻ったときには、なんと太陽がまぶしく顔をのぞかせていました。

8月27日（水） 【ことばの山登り】

（「ことば」主催 小学生以上対象）

翌日は「ことばの山登り」でした。低学年と高学年の二部制で、それぞれ子どもたちが輪になって、1冊の本を順に読んでいきます。耳でストーリーを聞くだけで、果たしてどれだけ内容を理解し面白と感じることができるのか、当初やや不安に思っておりました。

しかし、それも杞憂に過ぎず、どの子も自分の持ち分をしっかりと音読し、また聞くときの態度もきちんとできていたため、読み終わった後には確かに山頂にたどり着いたという爽快感がありました。子どもたちは内容について質問をされても、細かなことまで含めて正確に頭に入っていました。ちなみに、低学年は『おいしいれの冒険』、高学年は『ロボ』（シートン動物記）を読みました。

8月27日（水） 【2000年前の科学論】

（「数と自然」・「ラテン語入門」主催 高校生以上対象）

科学は英語のサイエンスの訳語ですが、元の意味は「物の道理を知る」ということです。それが技術と結びつくと科学技術の発展につながりますが、2000年前ですと、むしろ人はいかに生きるべきか、という幸福観とのつながりで問題となります。

ご紹介したのは、当時の唯物論——すべてはアトムでできているという考え——でした。この立場から人生を眺めると、「生あるところに死はなく、死あるところに生はなし」となります。人が死ぬ

とは、アトム（カプラで言えば、1枚ずつのピース）がバラバラになることなので、死とともに自分という存在も消滅する、言い換えれば、死後に不安を感じる自分もいなくなるので、閻魔大王に舌を抜かれるなどおそれる必要はない（＝死後の不安はない）、となります。そこから、「今を生きよ」という考え——刹那的な考えでなく、カルペ・ディエムに表現されるような人生観——が出てきます。

この考えは、内乱で明け暮れるローマでは一世を風靡しましたが、一方では個人の永遠の生、また文明の永続性を信じる立場からの痛烈な批判もあり、このこととの関連でキケローやウェルギリウスの思想をご紹介しました。

8月28日（木） 【アリの話】

（「かず」・「しぜん」主催 小学生以上対象）

山岡先生はお山の幼稚園の大先輩で、世界的に有名なアリ博士です。子どもたちはどんなお話が始まるのか、最初は様に緊張の面持ちでしたが、先生の気さくなお人柄に触れるにつれ、会場は打ち解けた雰囲気になりました。先生は、開口一番、「みんな、お山の幼稚園の歌を覚えていますか？」と聞かれ、全員で園歌を合唱することからご講演はスタートしました。お話の内容は、大学の講義と変わらないレベルでしたが、スライドやビデオを交えてわかりやすく、それこそ、噛んで含めるようにお話し頂きました。

圧巻はシロアリを使った実験でした。子どもたちは白い紙にボールペンで思い思いの絵を描くよう求められました。その上にシロアリを放ちますと、描いた線の上をシロアリが正確になぞって歩くのです。これは、ボールペンのインクに含まれる成分が、シロアリのフェロモンと大変よく似た性質を持つことに起因します。

こうして、あっという間に2時間がたちました。先生は、その後さらに子どもたちの質問を受け付けて下さいました。「よく観察すること」と「疑問をもつこと」——この2つがとても大切です、と繰り返しおっしゃったことが印象に残りました。

8月28日（木） 【英語で遊ぼう！】

（「英語の読み書き」主催）

小学4年生～中学3年生が参加して、英語のしりとりをしました。最初は、順番にホワイトボードに英語のつづりを書いてもらいましたが、途中から、ジャンルを動物の名前に限り、早い者勝ちで答えを前に書きにいく・・・という方式に切り替えました。

また、単語の綴りに空所を作り、その文字を当てるゲームもしました。こういうとき、小学生の持っているコンパクトな辞書のほうが、基本的な単語を見つけるのは有利です。大きな辞書を持ってきた上級生には、うまい具合にハンディがつかしました。

ご家庭から英語クッキー（アルファベットの形になっている）の差し入れも頂戴しました。単語クイズに正解するとクッキーひとつを **Get** できます。面白かったのは、こうしてたまったアルファベットを使って、子どもたちがひとりで文字を作り始めたことです。たとえば **HAPPY** という単語をつくらうとして、手持ちの **S** とほかの友達の **P** を交換したり・・・なかなか微笑ましかったです。

8月29日（金） 【ひねもすで遊ぼう！】

（「カプラ」主催 小学生以上対象）

（株）コトのご協力を得て、みんなで思う存分「ひねもす」遊びをしました。最初は、ちらしの巻き方の実演から始まりましたが、神妙な顔で説明を受けていた子どもたちも、次第に要領を飲み込んで積極的に作業に取り組むようになりました。男の子はひねもすで剣を作ること、女の子は正多面体のオブジェづくりが一番人気でした。

ご紹介しましたように、9月からは毎週月曜日（4時から6時）に（株）コトのスタッフを交え、「ひねもすクラブ」を開催中です。大人と子どもの共同作業（＝「巨大龍」）も徐々に目鼻がついてまいりました。参加費無料（会員以外の方も参加可）ですので、お友達とお誘いあわせの上、一度お越しください。

8月29日（金） 【ラテン語のタベ】

（「ラテン語入門」主催 高校生以上対象）

多彩な顔ぶれの参加者を得て（最年少は小学生）、和やかな中にも活発なやりとりを交わすことができました。話はラテン語から、文学、音楽、美術、教育、その他さまざまな話題に及び、私自身おおいに勉強になりました。まさに「文化の日」のようなひとときでした。また、折を見て同じような企画を考えたいと思っております。

9月14日（日） 【番外編】

ふれあい秋祭り——カプラであそぼう！——

さる9月14日、北白川小学校体育館にて「カプラで遊ぼう！」を開催しました。

200人を越える参加者を得て、居関さんの司会の下、みんなで楽しく遊ぶことができました。ポスターには「2万ピースを使いきって」とありましたが、実際には3万ピース近くご用意いただきました。聞くところでは、これだけのピースを使っただけのイベントは関西最大級だそうです。

定番の「かまくら」もあり、最後にはギネス級？ のナイヤガラの滝もあり、なかなか盛りだくさんのカプラ・イベントでした。うっかり、山の学校の会員には直前のご案内となってしまう、ご迷惑をおかけしましたが、また折を見て同じような企画を考えますので、その際にはぜひご参加ください。

さて、以上の催しの中で、「ワクワク探検教室」、「ひねもすで遊ぼう！」、「カプラで遊ぼう！」については、そのときの模様をビデオにまとめてあります（合計約30分）。

閲覧ご希望の方は、ご利用の上その旨お申し出下さい。